



次世代への祭りの伝統継承

— 京都府南丹市美山町上げ松の事例 —

佛教大学社会学部大谷ゼミ美山班

奥田雅也 土井沙耶佳 中島弘道

永濱大珠 堀智英 松井宏隆 山下雄也

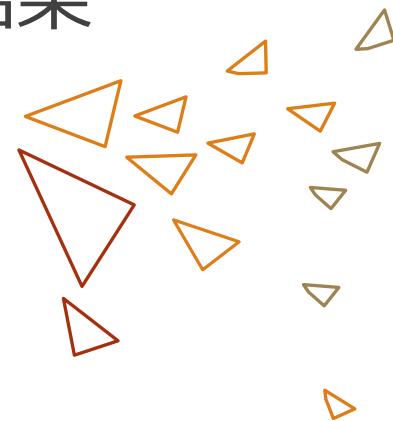


美山町 Miyama-cho

かやぶきの里

Kayabuki-no-sato

- ◆ 1. 研究目的
- ◆ 2. 先行研究
- ◆ 3. 美山町について
- ◆ 4. 上げ松について
- ◆ 5. 調査一覧と結果
- ◆ 6. 考察
- ◆ 7. 問題点
- ◆ 8. 政策提言
- ◆ 9. 政策の目指す展開
- ◆ 10. 参考文献



1. 研究目的

少子高齢化や過疎化の進行

伝統行事を支える担い手不足で運営が困難

旧住民・新規住民・他地域の住民・組織同士の協働が必要

新しい共同性システムの提案

地域活性化による伝統行事の維持存続

旧住民と新規住民 他地域 地域活性化

本報告では便宜上...

- ▶ **旧住民**：美山町で生まれ育った人
- ▶ **新規住民**：美山町外からの定住者
- ▶ **他地域の住民**：美山町外の人々
- ▶ **地域活性化**：観光客数の増加を目指すだけでなく、
地域住民とボランティア等の
他地域の住民との関わりが密接になること

2. 先行研究

▶ 松平誠（1980）

祭りのスタイルは祭りを支える人々の生活と町内の仕組みを反映してできあがったものであるから、**社会が移り変わるにつれて、祭りも大きく変化していく。**

▶ 稲葉陽二（2016）

ソーシャル・キャピタルを「**信頼・規範・ネットワークなどの社会的仕組みの特徴**」と定義している。

また、「祭りはまさに**結束型、橋渡し型、リンキングなソーシャル・キャピタルの総合醸成装置**ということになる」と述べている。

先行研究まとめ

祭りが新たなソーシャルキャピタルの
醸成装置となる

時代の変化にあった
伝統継承が可能となる

地域活性化による
地域社会の変化

3. 美山町について

- ➡ 美山町は、**かやぶきの里**をはじめ、日本の農山村の原風景と豊かな自然が息づく町として知られている
- ➡ 佛教大学は美山町と**教育や地域振興を目的として地域連携協定**を結んでいる



美山町の団体について

▶ 鶴ヶ岡振興組合

- ・ きこり体験 (11/18)
- ・ 鶴ヶ岡実りの秋祭り

京都美山さば寿司さみっとin鶴ヶ岡 (11月中旬)

▶ 南丹市美山エコツーリズム推進協議会

- ・ 美山トライアルワーキングステイ(2/9～)
- ・ 美山エコツーリズム大会(12月頃)





美山サイクルロードレース
MIYAMA CYCLE ROAD RACE

かやぶきの里を駆けぬける公道レース。

2019年も開催決定！！

2019 - 5/25sat ~ 5/26sun

- ▶ 全長10kmのロードレース
- ▶ 幅広い参加者が
1,000人以上集まる
- ▶ 「自転車の聖地プロジェクト」
- ▶ 美山で
最も大きいイベントの一つ

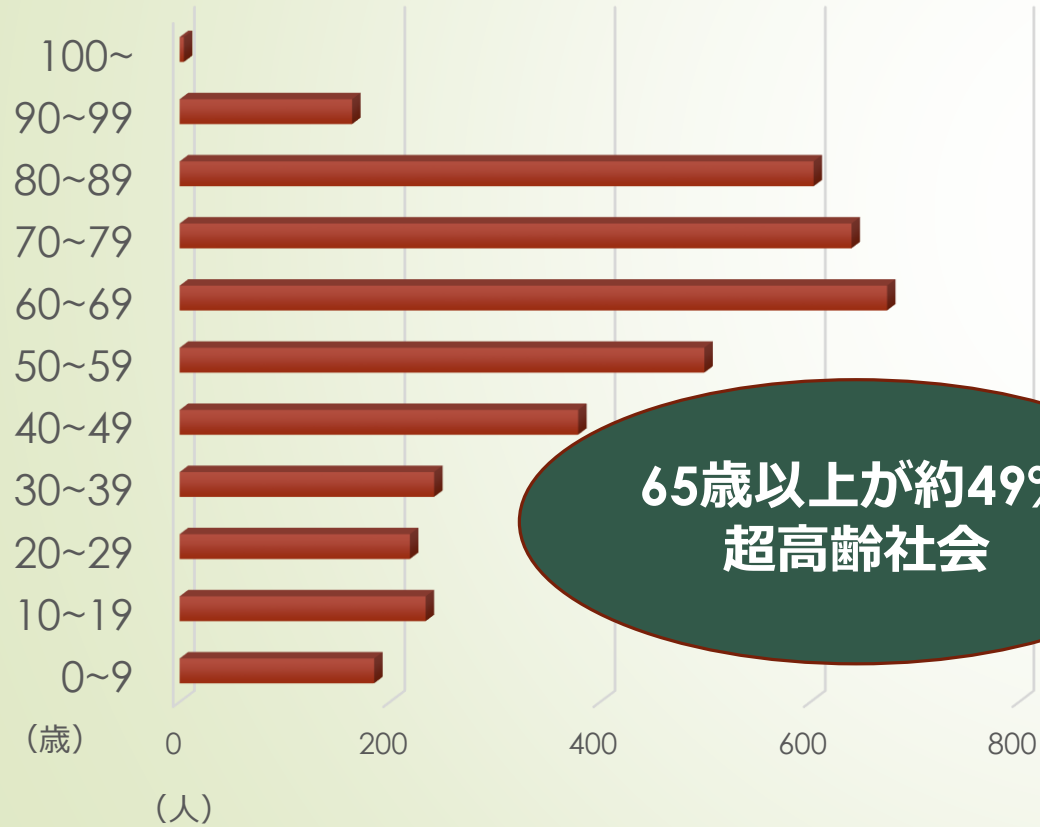


美山のめぐみ牛乳工房 美山プリン

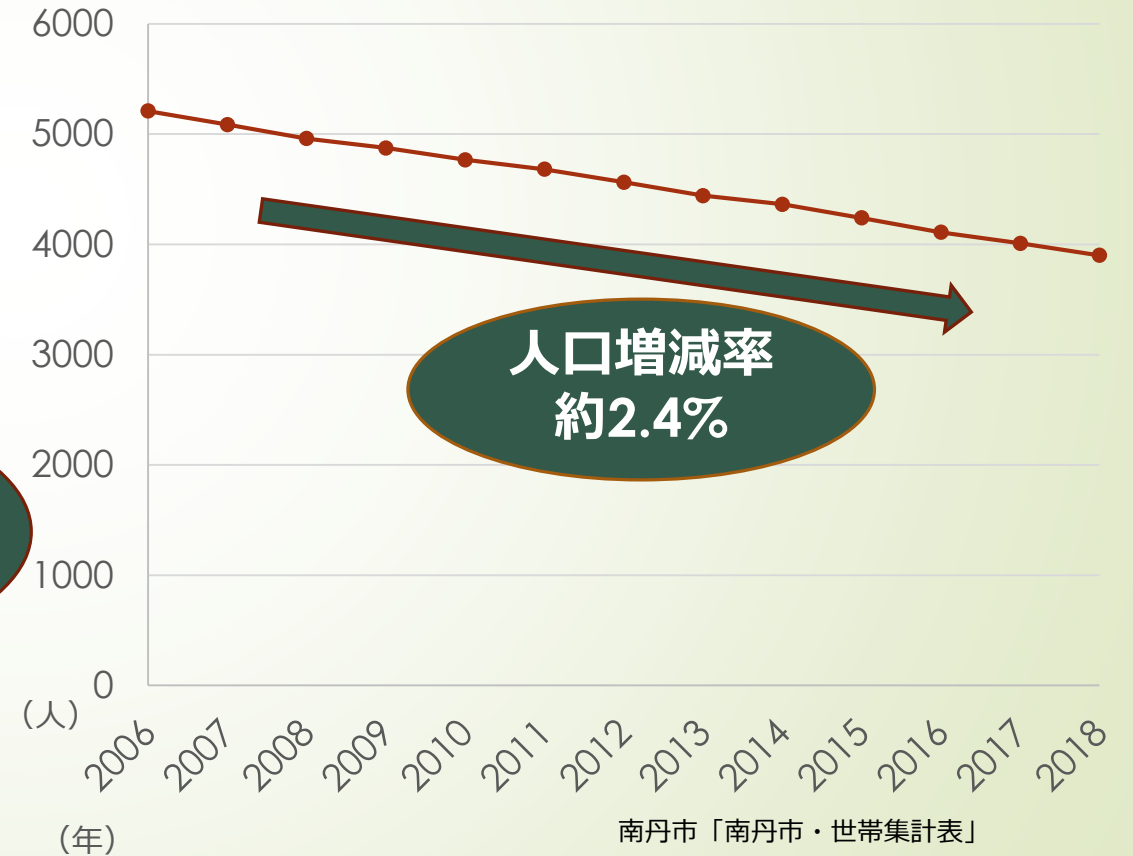
その他にも、てんごり（日本酒）や、
ゆう豆（ゆば）、美卵（卵）
など様々な名産品が存在する

美山町の人口について

美山町年齢別人口集計表

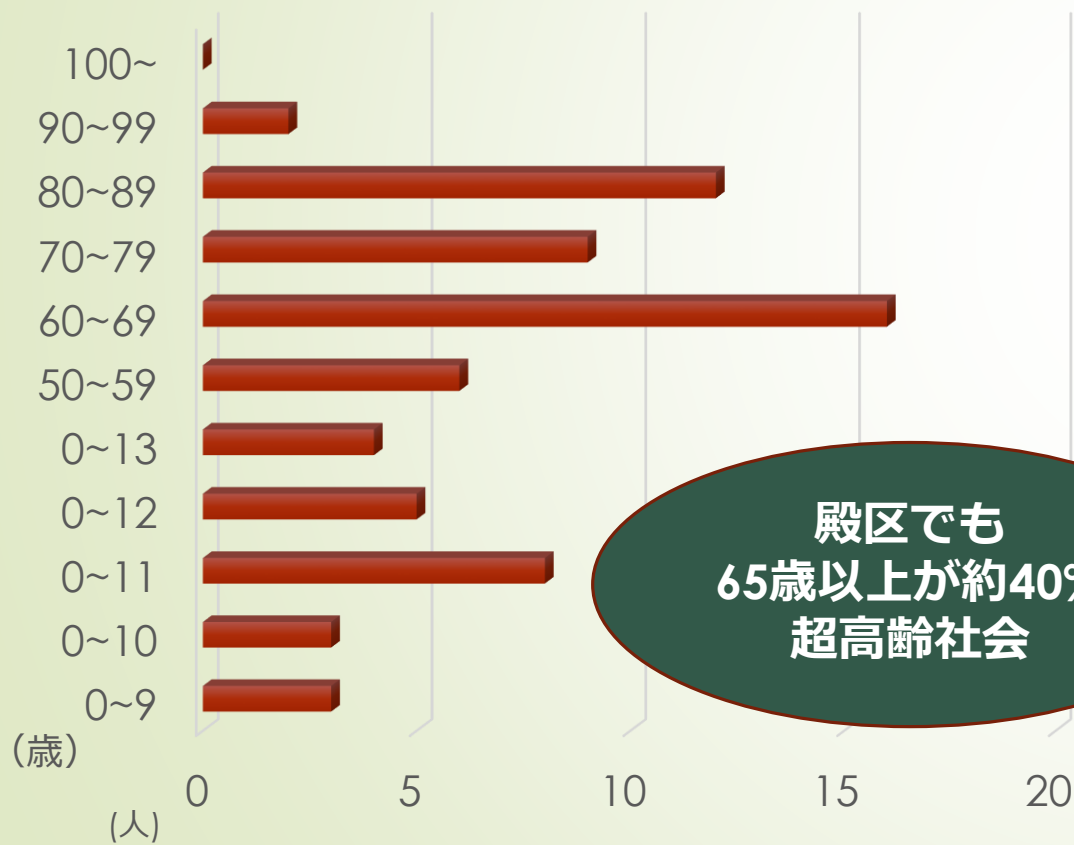


美山町の人口

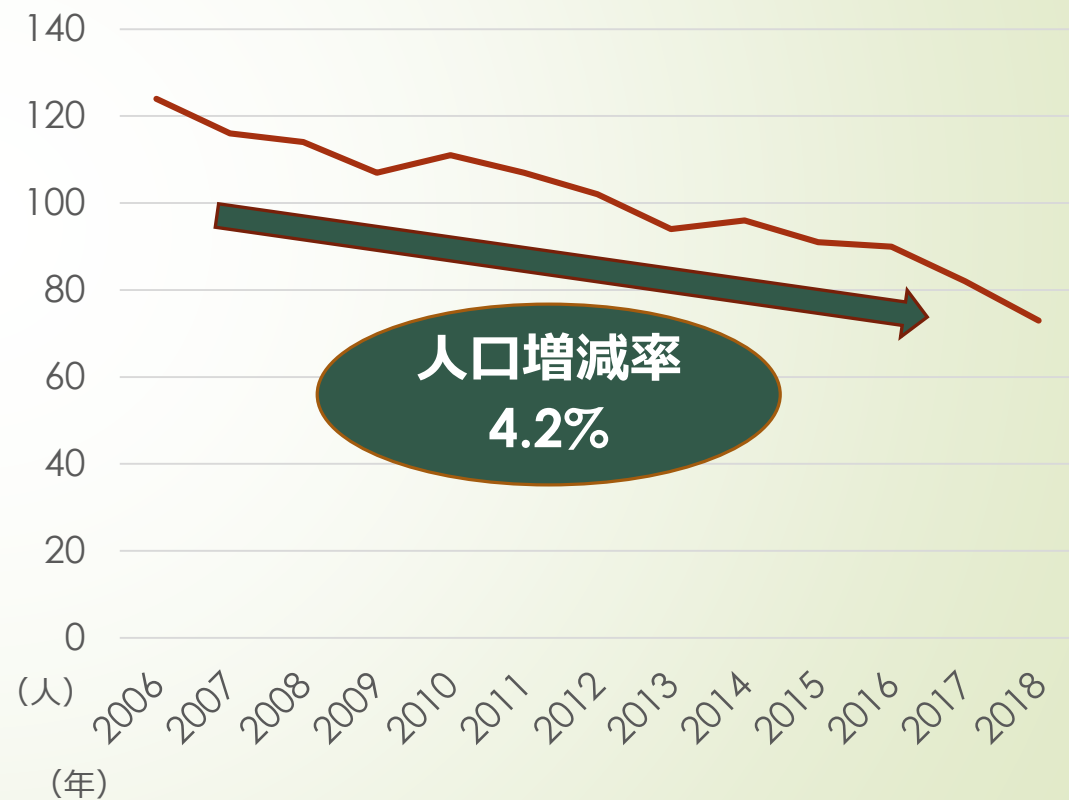


殿区の人口について

殿区年齢別人口集計表

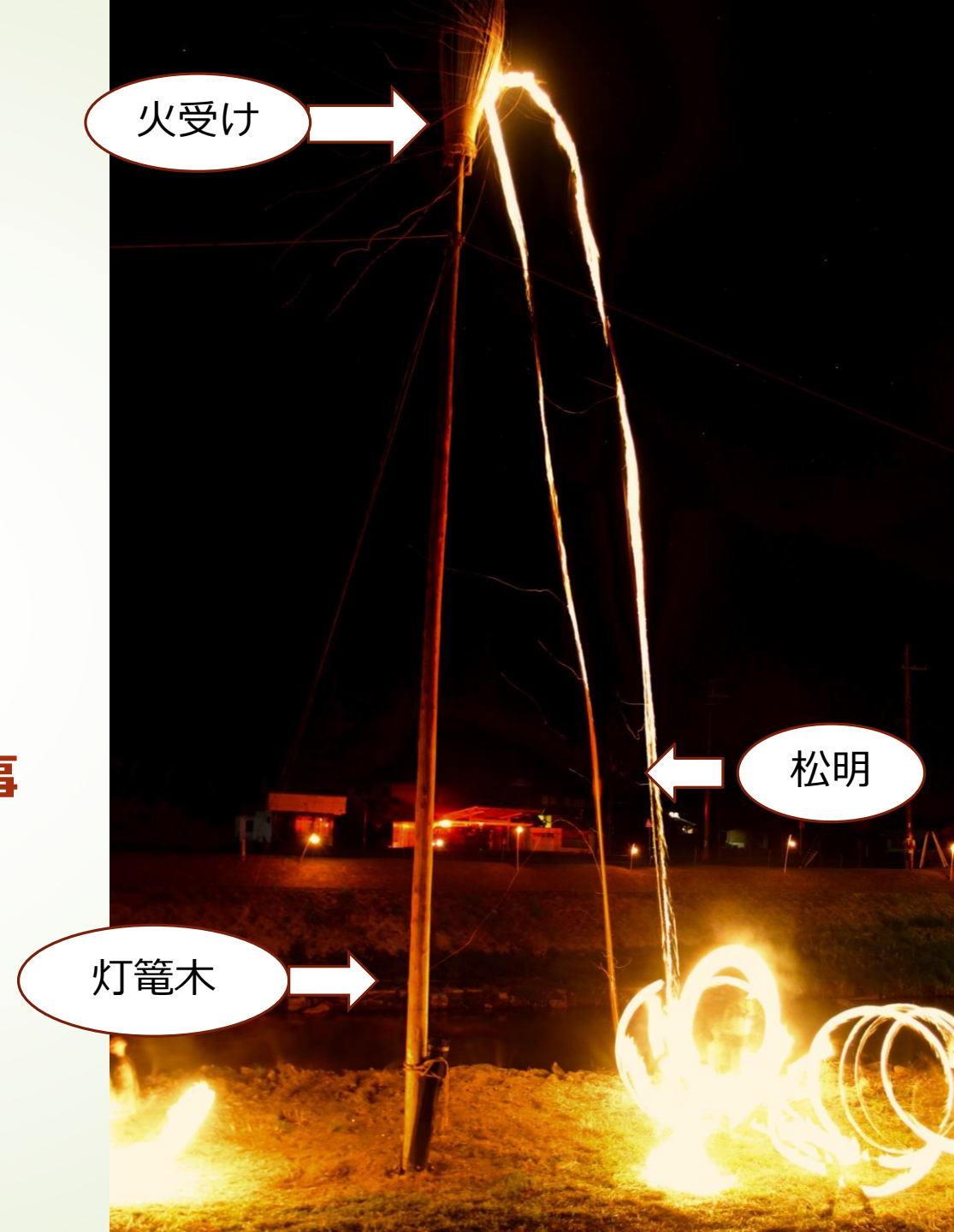


殿区の人口



4. 上げ松について

- ▶ 京都府登録無形文化財
- ▶ 愛宕神社の御幣を立てる
火伏せの神の献火や豊作を願う祭り
- ▶ 約300年前から行われている**伝統行事**
- ▶ 毎年8月24日に美山町内4ヶ所
(殿、盛郷、芦生、川合) で開催



5. 調査一覧

- ①元美山町観光協会会長の神田和行氏へのインタビュー
(2018年8月13日)
- ②祭りの準備から参加している旧住民へのインタビュー
(同年8月18～19日)
- ③上げ松での現地調査と参与観察 (同日)
- ④元美山町観光協会会長の神田和行氏へのインタビュー
(同年10月23日)

旧住民へのインタビュー



旧住民は昔からの地縁的なつながりが深い。
しかし、他の地域の団体や、新規住民との繋がりは薄いと
感じる。(70代 男性)



上げ松は殿区にとって、殿区の住民をつなげるもので、
なくてはならないもの。(60代 男性)



上げ松を他の地域の人にも参加できるようにしたい。
他の地域に住んでる人のつながりを僕たちの世代で増やし
たい。(30代 男性)

元美山町観光協会役員の方へのインタビュー（60代後半）



美山のことが好きで何でもいいから貢献したい
と言ってくれている人がいる。

地域資源は素晴らしいものがたくさん存在する。
しかし、使い方・広げ方が分からない。

一過性じゃない、ずっと関わってくれる若い子に
技術を継承していかないけない（中略）
でもボランティアが毎年同じ人が来てくれるとは
限らない。

6. 考察

- 美山町の旧住民・新規住民・他地域の住民との関係が希薄
- 情報発信のノウハウが不十分である
- 上げ松は殿区の住民にとって...

結束型のソーシャルキャピタル醸成装置

若年層は、**橋渡し型のソーシャルキャピタル**醸成も望んでいる

- **継続的なボランティア**の需要が高まっている

7. 問題点

美山町内

旧住民

新規
住民

つながりの希薄

一過性のつながり

外部への発信力不足

他集団

団体

他地域
の住民

ボラン
ティア

企業

目指す方向性

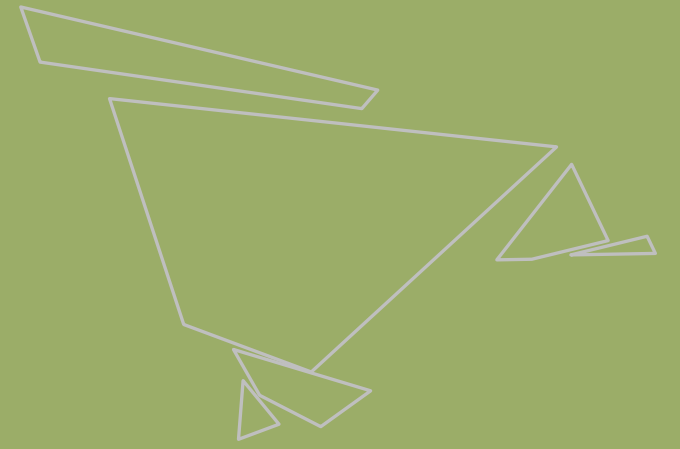
他集団の行事参加の増加

伝統継承を継続して行えるシステムの醸成

地域資源の再認識・発掘



行事の存続・地域活性化



NPO法人設立による 地域活性化

上げ松の担い手不足解消に向けて

なぜNPOを設立？

➡ Point①

- ・ **多種多様な人材が参加可能**



異なる視点からの意見や情報を取り入れた提案が可能に
働き方の多様化の影響で本業以外での参加も積極的に行える

➡ Point②

- ・ **自由度が高い社会貢献活動が出来る**



公益法人に比べて行政に固執しない活動体制
寄付金を集める際の税制優遇

美山町におけるNPOの活動

▶ 特定非営利活動を目的とすることが条件

(NPO法2条2項)

- まちづくりの推進を図る活動
- 観光の振興を図る活動
- 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- 経済活動の活性化を図る活動

8.政策提言

▶ NPO法人“フレサト”を設立

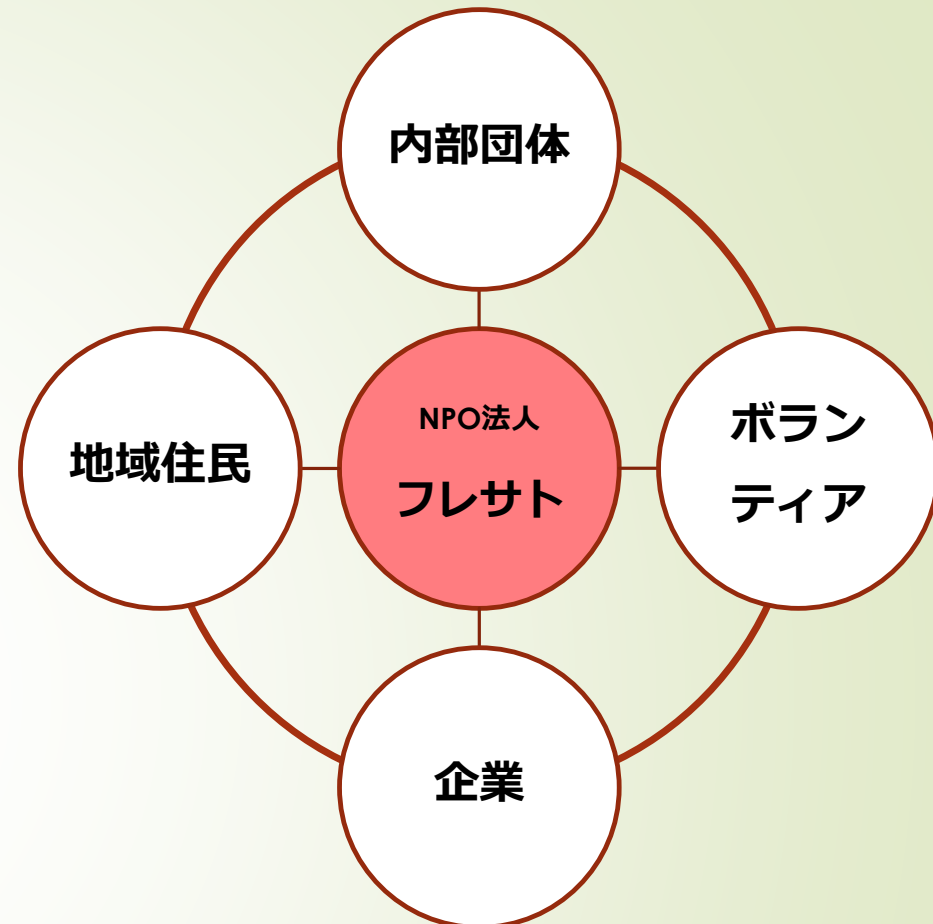
- ・地域のつながりを支えるプラットフォーム

▶ 政策提言の意義

“継続的で能動的なボランティアと地域コミュニティの融合”

⇒美山の伝統行事や地域行事に新たな人の輪が生まれる

⇒人とのつながりが活発になるという意味合いでの地域活性化



フレサトのコンセプト

➡ 地域に触れるふるさと納税

「地域にエールを送りたい！」

「地域と実際に触れ合ってみたい！」

「若い力をもっと活かしたい！」



① 実際に地域でボランティアとして貢献



② 返礼品として美山の名産品を進呈



上げ松を例にしたボランティア

➡ 体力的・技術的な作業が多数



➡ より多くの人手と若い力が必要



➡ 技術的な作業は一朝一夕でできるものではない

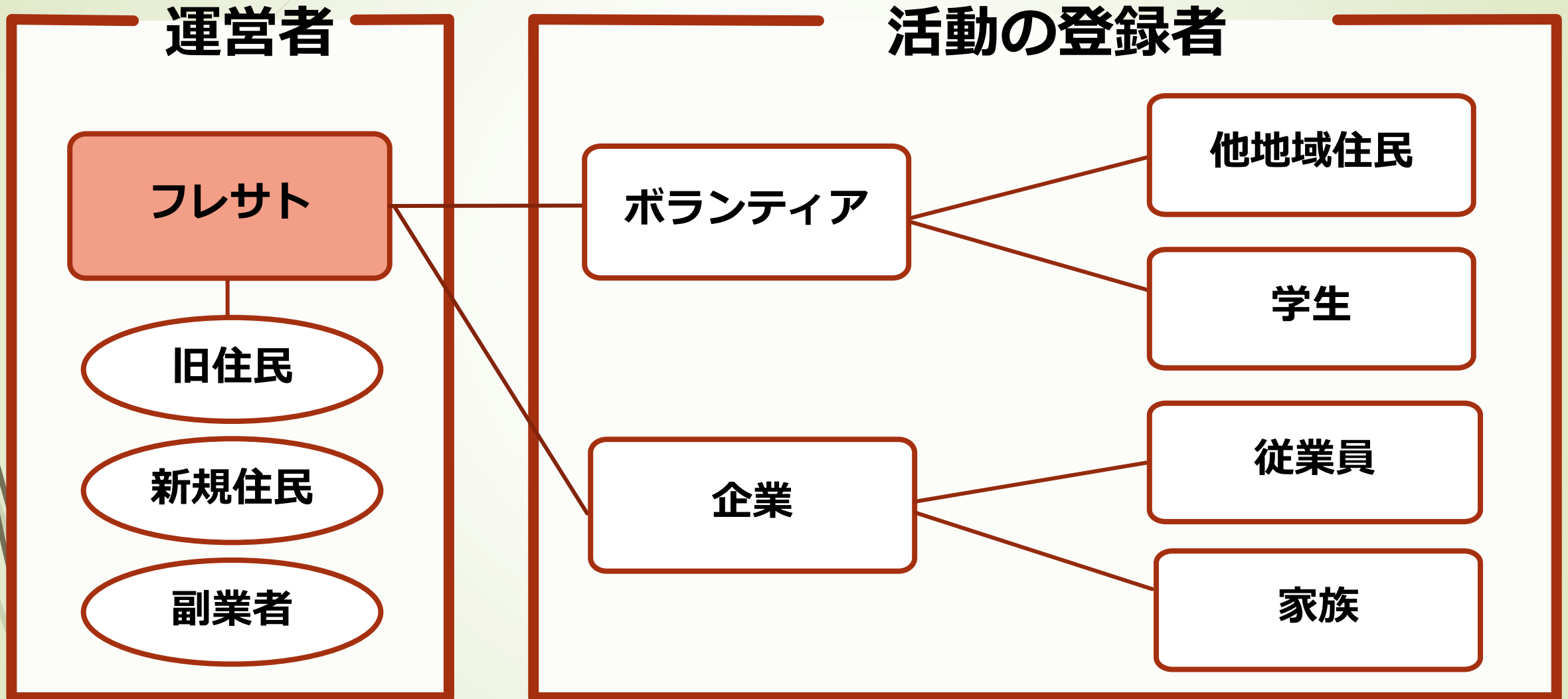


➡ 毎年参加できるボランティアが必要





フレサトのしくみ



フレサトのしくみ

- ▶ 登録制で年会費を徴収
- ▶ 集客見込みのあるイベント、環境整備等の告知
- ▶ 季節、行事ごとに合った返礼品の選定
- ▶ NPO運営に必要な賛助会員の獲得

住民・ボランティア・自治体・企業など

地域が一体となって取り組む為の中心的役割を担う

9. 「NPO法人フレサトが目指す地域の形」

旧住民、新規住民と他地域が一体
となって取り組む姿勢が生まれる

担い手不足の解消

参加による魅力発見と地域との踏み込んだ関係に

継続的な関係の形成

未活用の地域資源を第三者の加入で価値を持たせる

地域資源の発掘

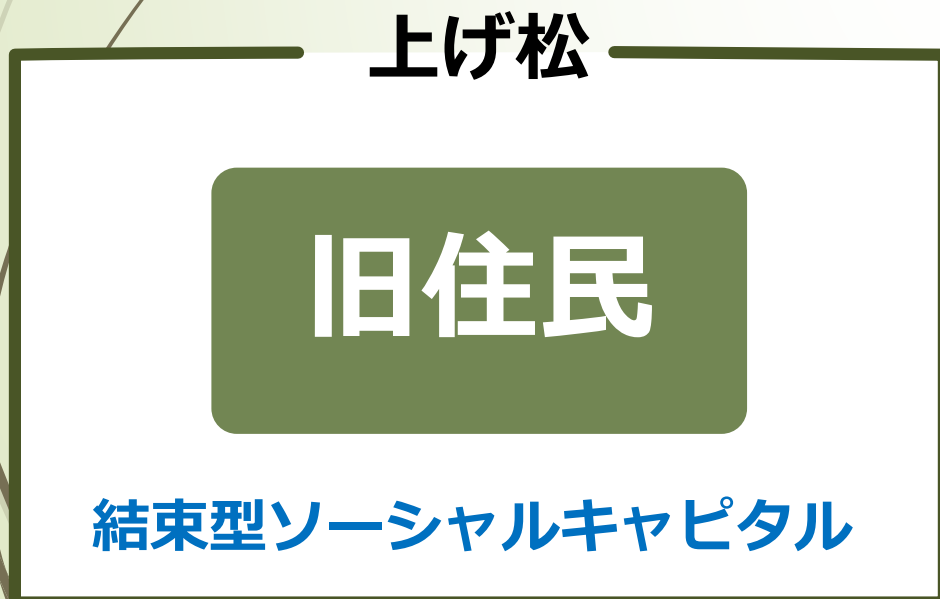


地域主体型運営

NPOの活動から得られる効果

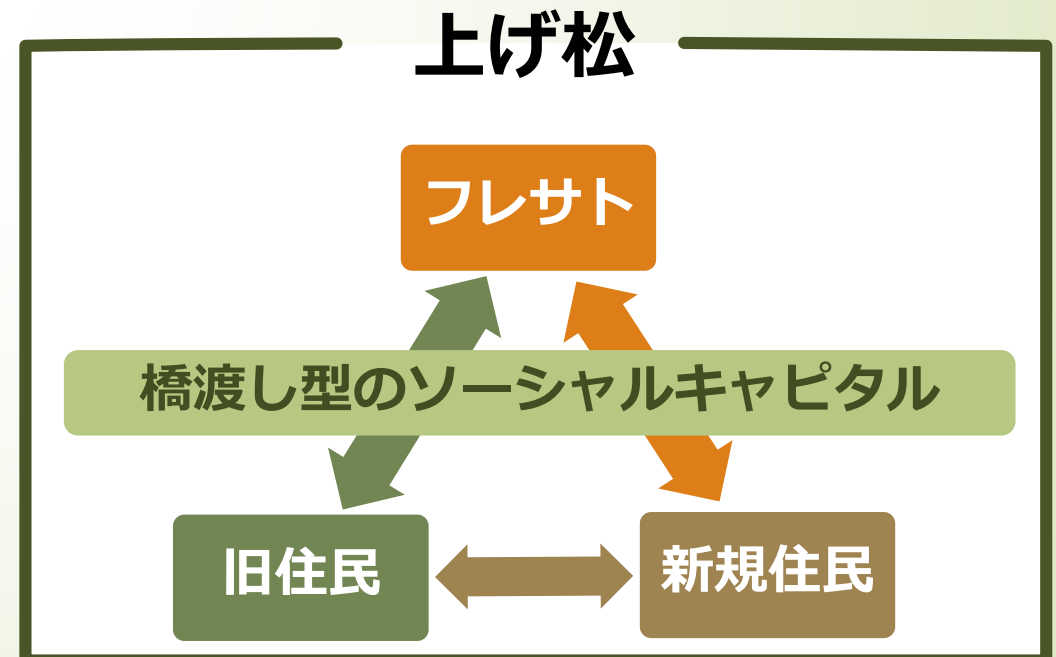
現在

- ▶ 上げ松は、旧住民に支えられている
- ▶ 伝統を継承していくのは困難



将来

- ▶ フレサトが介入することで、上げ松に、旧住民、新規住民、フレサト（ボランティア）の関係性が生まれる



地域の活性化を促進

- ▶ フレサトが旧住民と新規住民をつなぐ役割を果たし、時代の流れに沿った伝統継承実現に向けた地域主体型運営の基盤を作る
- ↓
- ▶ 旧住民と新規住民の意識格差の是正、行事参加を促す
- ↓
- ▶ 住民間のつながりが強固になることで、地域の協働性が働く
- ↓
- ▶ 新規住民を上げ松の新たな担い手へ

終わりに

NPO法人フレサトの活動



橋渡し型ソーシャルキャピタル醸成



地域の活性化を促進



時代の流れにあった伝統継承の実現



10. 参考文献

- 稲葉陽二 2016 「都市祭礼とソーシャル・キャピタル」山田浩之編『都市祭礼文化の継承と変容を考える——ソーシャル・キャピタルと文化資本』ミネルヴァ書房
- 小畑紘一 2013 『祭礼行事「柱松」の民俗学的研究』岩田書院
- 名越修一 2012 『新版 自分たちでつくろうNPO法人!』学陽書房
- 松平誠 1980 『祭りの社会学』講談社
- 八木透編 2006 『京都愛宕山と火伏せの祈り』昭和堂
- 八木透編 2015 『京のまつりと祈り——みやこの四季をめぐる民族』昭和堂
- 南丹市 2018 公式ページ <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/>
2018年10月16日アクセス
- 美山ナビ 2018 公式ページ <https://kyotomiyama.jp/> 2018年11月7日アクセス



郵便
POST

ご清聴ありがとうございました

佛教大学社会学部大谷ゼミ

Facebook : otani.seminar

Instagram : bu_otanizemi

<http://sites.google.com/view/otanizemi/>

